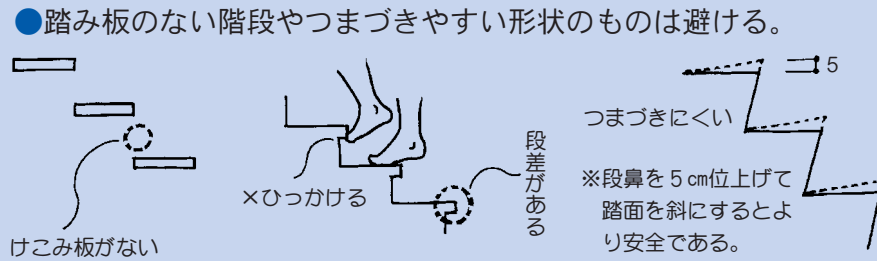


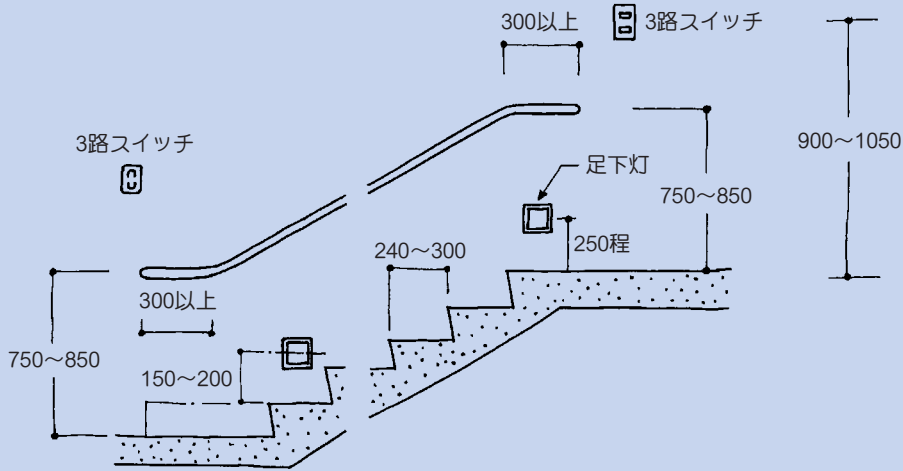
# 階段

高齢者の生活部分は1階に確保することが最も望ましいが、住宅の多層化が進む今日、2階以上に生活部分に移る場合もあります。昼夜を問わず安全に、かつ、できるだけ容易に上り降りできるように配慮し、転落防止及び緊急避難時の安全を確保することが重要です。

## リフォーム指針



●取り付け高さは75~85cm、2段に設ける場合は65cm程度と85cm程度が適している。この場合下段は内側にだすとにぎりやすい。

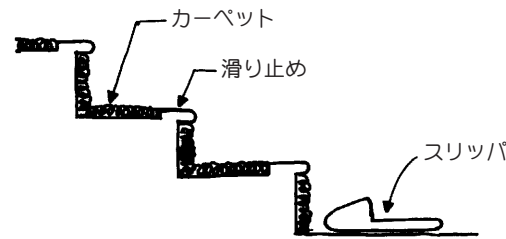


## 改造のポイント

両側に手摺を設置。(登り降りともに、同じ手でつかむことができる。)



階段をカーペット貼りにして、階段下でスリッパをめぐることにより、つまづきを解消する



手摺の下地がないため、補強して手摺を設置

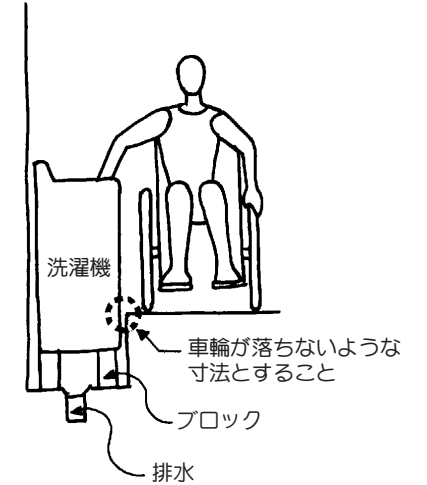
# その他

## ★改造のアドバイス

車いすで使いやすい高さは、55~65cmです。使いやすい高さを事前実験してから、改造してください。

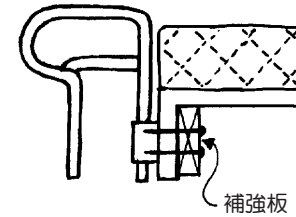


▲洗濯機を床に埋め込み使いやすい高さにする



## ★改造のアドバイス

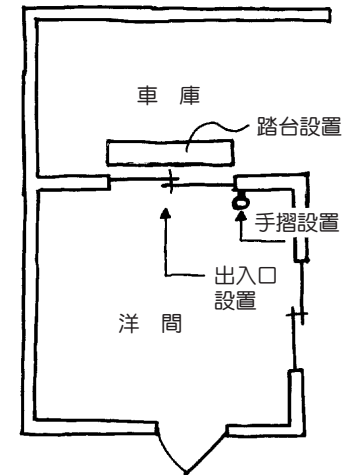
しっかり固定しないと危険です。



ベットの側板は強度不足のため、補強板を取付けること。



▲ベッドに移動用手摺をつける



## 改造のポイント

外出はほとんど車の場合、車庫に直接入れると雨や雪の日も便利です。



▲車庫に直接出入口を新設

